

「はんのう」の語源には、いろいろ説がありますが、その中に古代朝鮮語を想定した「はんな一ら説」というのがあります。

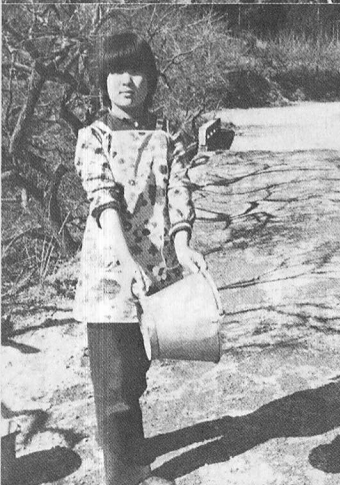
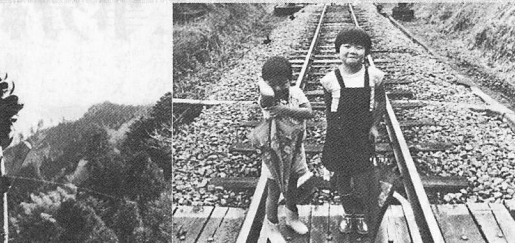
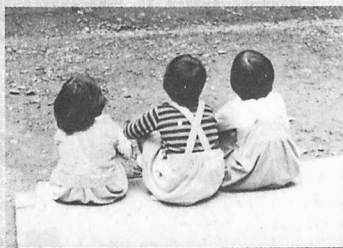
「はん」は、広いとか大きい。「な一ら」は、大和の「奈良」と同じく都市とか国をあらわしますが、もともとは川とか、川のそばの平野を意味することばだったそうです。

奈良時代、関東各地から集められた帰化人たちが、この土地を「はんな一ら」と名付けた時、それが「大きい川」の意味だったのか、「広い野」か、それとも「韓人の町」だったのか、今では誰も知りません。

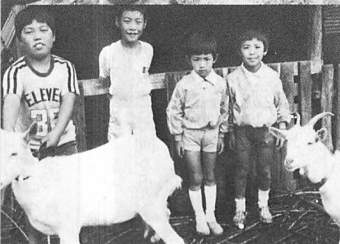
しかし、今もこの「飯能」は、美しい清流と、緑の山々に囲まれた平野に築きあげられた、わたしたちの愛する町なのです。

はんな-ら

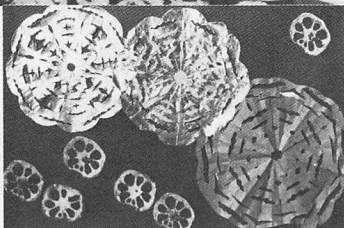
社団法人飯能青年会議所広報委員会 1981. 10. 24(日)発行通刊第36号



今つばみの会では在宅障害者のみなさん、外へ出て私たちといっしょに作業をしませんか。「つばみ」作業部は毎週水・金曜、10時から3時まで、旧保健所で開いています。



飯能の
福祉を
考える



1981
秋
の号

←「花火」ただまさ君



周囲の写真提供／落合・大久保登氏



リフレッシュ!!ニコニコ池

飯能JC81年度計画工事分終了



←「こんなに変わった!」
改修後56年9月
改修中56年7月



既刊の「はんなーら」春夏号に於いて、ニコニコ池とその周辺の改修計画を発表しましたが、9月15日、今年度工事が終了しました。多くの方々の協力を得て、JCメンバーが汗を流し、泥にまみれて作った改修後の「いいこの広場」をご紹介します。

まず広場の中心ニコニコ池は、改修前はヘドロが溜っており、その上にあやめや雑草が雑然と生えていました。今回ヘドロや雑草をすっかり取払い、上層を特殊セメントで固め、さらにその上をコンクリートで仕上げ、ところどころに大口径のヒューム管を垂直に配置し菖蒲を植え付けました。池の岸は安全性を考え、枕木で護岸してあります。この池が一番大きく変わったと見える所でしょう。またその周囲にはインターロッキングブロックを敷詰めた遊歩道が作られ、能仁寺参道入口の所まで続いています。

さらに予定には無かった、子供達が自由に遊べる砂場とベンチ、テーブルが作られました。休日には行楽客や子供達の利用する姿が見られます。全体の地形では、改修前だいぶ起伏がありましたが、なだらかなスロープに改善されました。地面には白と赤のクローバーの種が蒔かれ、すでに小さな芽が出て来ており、来春花の咲く頃は北側半面は白、南側半面は赤のクローバーの花に埋まることになることでしょう。

年当初JCが着手した時点では、どの程度できるかわかりませんでしたが、皆様の協力のおかげで予想以上の公園ができました。ありがとうございました。

アトム像建設に向けて

緑と清流に恵まれた人口6万余の飯能市は、現在年間270万人を越える行楽客を迎えています。その多くの人たちが訪れる、天覧山や多峯主山及び大河原の一部が、県民休養地構想に含まれるなど、天覧山入口に位置するこの地が、ますます重要性を帯びてきました。改修なったこの「いいこの広場」を、単なる美しい広場から一歩考えを進めて、市民の交流の場及び首都圏の子供部屋ともいうべき観光のシンボルとして、遠足児童たちに親しまれるユニークな広場の創造をめざし「鉄腕アトム」像建設を今新たな目標として準備を進めています。

「鉄腕アトム」が誕生して30年になりその間25年にわたる雑誌掲載、両三度へのぼる新作テレビ放映を通じ、今や40代から3才児に至るまで、共通のアイドルである「アトム像」を建設し、この広場が一層世代間の交流の場となることを望んでいます。

どんな「アトム像」を作ったら良いか検討中ですが、戦後の荒廃した時代に生まれ、子供達に夢と希望を与え、現在でも人気者である「鉄腕アトム像」建設のために、皆様のご協力をお願いします。



なお、この「アトム像」建設計画は、著者の手塚治虫氏のご了承を得て進められています。

福祉?、そんなにむずかしく考えないで、迷ったり、悩んでいる人がいたらソツと手をさしのべる……立派な福祉だ。

水を活用して 管路を守る

- 上水道・ガス用各種管継手類
- 不断水穿孔機・パイプ切断機

製造販売

株式会社 飯能製作所

取締役社長 萩野昌巳
飯能市飯能260
☎ ④ 1231代

(株) 高橋現像所

あなたの色と光をクリエイトする
カラースライドの現像&デュープ

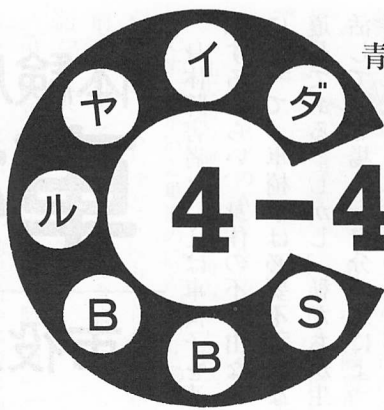
飯能市岩沢151
☎ ③ 6151代



半導体技術の 新電元

取締役社長 長尾 正勝

飯能市南町10の13
☎ ③ 3111代



青年ボランティアによる
青少年電話相談室

心のカタルシスを求めて

毎週土曜日

PM 2:00~ 8:00

の会話がいかにかがわかる。非行に走る原因として「少年達の心の悩み」があげられる。話し合いのない家庭の中で、両親にも、友達にさえも打ち明けることができない「悩み」は、やがてストレスとなり、更に非行に走るることによって開放されようとする。この繰り返しによるケースがきわめて多い。こういった事に対して様々な相談機関、指導機関を設けて対処されているが、いずれも事後処理的傾向が強く(本来の目的は必ずしもそうではないのだが)事前に少年達を救う機関として有効なものが少ない。そういった中で飯能B・B・S会(会長新井文雄氏)が1年前から実施している「ダイヤルB・B・S」は注目される。

一人で悩んだら

すぐダイヤルを回そう

同会では「同じ世代を生きる若者として、彼等に援助の手をさしのべ、最も揺れ動き孤独な年代とも言える、思春期、青年期の少年達と、共に悩み、考え、できるものならアドバイスし、行動して行きたい」と言っており、電話を選んだ理由として「面接を旨とする各相談、治療機関には、事前に訪れる少年は極めて少なく、半強制的に連れて来られる少年がほとんどである。反対に、警視庁のヤン

グテレホンやダイヤル避妊相談室等では相談者の大半が少年達によって占められている」といったデータをもとに決めた。相談員の中には心理学を勉強し、都内の電話相談室、教育相談所にも勤務をしたベテランがいるのも強みといえる。この電話が開局されて以来多くの相談があった。顕著な例としては「家庭内の両親の不和が原因で、おもしろくなく家出を考えているのだが」といった相談や延々と1時間30分に渡って自分の悩みを打ち開けた相談者がいるという。こうした相談者が、この電話によって立ち直ってくれるものと信じている。ちなみに過去1年間の相談内容のベスト・スリーは次の通り。男
子(1)オナニ
ー、(2)ベニ
ス、(3)女の
子について
女子(1)男女
交際、(2)生
理、(3)から
だ、となっ
ています。



子を持つ親として、現代社会の変動が益々スピード化し、情報化が進む中で、十年一昔などといった悠長なことはいつていられず、少なくとも親の育った時代とは全く違う時代になっていることを認識すべきである。また少年達が両親にも友達にも話せないで悩んでいる時に、このダイヤルを回してくれることを望みたい。なおこの電話相談は毎週土曜日午後2時から8時まで開かれています。

B・B・S会とは

非行少年の更生や非行防止のために人間愛と奉仕の精神に基づき、余暇を活用して種々の実践活動を行ない、自分たちの手で少しでも明るい社会を作っていくとする自主的な青年運動です。その中に(1)ともだち活動(2)非行防止活動、(3)研さん活動があり、その他にもサマーキャンプ、ハイキング等のレクリエーション活動や施設慰問なども行なっている。

入会について

○ BBS運動の趣旨に賛同し自分もやってみようという熱意のある人。
○ 年令はおおむね18才から30才位まで。
○ 少年や子供の気持を理解し常に暖かい愛情をもって彼らに接することができ
る人
○ 少年のともだちとなって活動したり、
例会(月2回)に出席できる人。
連絡先 新井文雄 TEL二一五五一六

体験ルポルタージュ 車椅子であちこち

市役所・駅・デパート

身体障害者といえば車椅子を連想するぐらい、身体の不自由な人にとって、車椅子は必要不可欠な道具である。しかし、私たちが生活している場合は、自分の足によって移動することができる健康人のために作られている。一部公共施設等では車椅子のための配慮も見受けられるが、まだまだ不備が多いのではないか。そんな観点から実際に車椅子で街や公共施設に行ってみたらどうなるか。以下はその体験記である。

まず市役所から

意外と思うように

動かない車椅子

この企画のために集まった勇氣ある人たちは、いずれも車椅子に触れた事もなく、ましてや運転(?)した経験も皆無である。さて、まずは車椅子に恐る恐る乗って運転してみる。仲々真直には進んでくれない。左右の車輪が別々に回転するので、力を均等に入れて回さないとだめだ。このことは車椅子を押す介添人にもいえることで、椅子の背に付いているハンドルに平等に力を加えないと直進してくれない。



乗る方も、押す方も初心者マークの我が最初を選んで訪問先は市役所だ。市民に直結し、しかも車椅子等身障者への配慮が最もなされていると思われるので我々でも苦勞なく行けると考えたからだ。市役所の駐車場から正面玄関へ向う。流石は市役所、車道と歩道、さらには玄関ドアに至るまできちんと車椅子用の傾斜路が取付けてあった。そして、さ

らにその先には、身障者専用の自動ドアがあり、一般用出入口とは区別されている。見かけは穏やかな傾斜路だが、介添人なしに自力で昇ることは難しい、介添人もかなりの力を要する。

ここで思わぬアクシデントが起きた。



介添人が押す事に氣を取られていると、自動ドアの開き方が思ったより遅く、車椅子の先がドアにガシヤリとぶつかってしまった。これは写真でわかる通り、介添人プラス車椅子の長さがかなりのスタンスを取り、自動ドアのセンサーが感知して作動する頃には、すでに車椅子の先端はドアに達しているためであると考えられる。ドアの手前で介添人が氣が付いて一呼吸待てば良いのだが、氣が付かないと前述のような事故となる。

何とかロビーに入り込み、市民課まで行ってみる。受付カウンターの高さ等は車椅子にとってさしかえないようだ。その他1階には税務課、福祉課等があり、市民の一般的な用件はほとんど1階で事足りるようである。しかし、5階の議会傍聴席はどうだろう。車椅子の人が行く可能性は多いにあるので、早速行ってみる事にした。

エレベーターで悪戦苦闘

ロビーからエレベーターを呼ぶ。このボタンは座ったままで押す事ができた。



ドアが開き、介添人に押してもらおうと簡単に入れる。しかし、自分で車輪を回しながら入ろうとすると、ドアの開口幅と車椅子がギリギリのため難しい。おまけにドアは自動的に閉まろうとして、車椅子にぶつかってはまた開く事を繰り返して、ガチャガチャとすさまじい音を立てる。

エレベーターの内部は狭くて方向転換はできないので、車椅子に座ったまま操作ボタンを押すにはちよっと難がある。方向転換が不可能なので出る時にはバックで出るのだが、これまた入る時同様ドアがガチャガチャと開閉し始めるので、一人では出られなかった。結局、エレベーターは介添人無しに乗る事はできないようだ。

車椅子での傍聴も可

——ただし1台だけ——



5階で降りてから傍聴室までは、床面がフラットなので、障害なく行く事ができた。あいにくと議会は開催されていなかったが、ドアは開いていたので見学はできた。

傍聴席は階段状になっているので、車椅子が入り込む事は不可能だ。しかし、ドアを開いた所にフラットなフロアがあり、そこから傍聴席への階段がある。そのフロアに車椅子を停めれば傍聴することはできる。但し、出入口のすぐそばに車椅子が居ることになるので、多少通行の障害になるかも知れない。

恐怖の段差



次の目標は西武線の飯能駅だ。駅前通りを駅に向って車椅子を進めてゆくと、たまたま市内のある心身障害児の車椅子を押しながらやって来るボランティアのAさんとお会った。

「丸広前の横断歩道を渡ろうと思ったのですが、歩道と車道の段差があり過ぎ、やっぱり一人じゃどうにもならなくて駅前まで行って遠回りをしてきました。」と語っていた。

第一勧銀前の横断歩道から駅に向って渡ろうとしたが、第一勧銀前の歩道は幅が狭く、車椅子は使えなかった。やむなく歩道沿いの車道を進むが、これでは消防署方面から来て左折する大型車の死角に完全に入る結果となり、危険極まりない。何とか横断すると今度は駅前の歩道の段差が待っている。約10センチ程の高さの縁石だが、とういて自力では無理なので、写真のように二人掛りで後向きに

引きずり上げる。その歩道から駅構内との境に、これまた3センチの段差があった。日頃、歩いている時は全く気にも止めなかったが、こうなるとわずかの段差も敵となる。たつた3センチのことなので、自力突破を試みるが、車椅子初心者にはあえなくダウンした。

ホームは段差のかなたに

駅構内自動販売機で切符を買ってみる。ある調査によると、国鉄の自動販売機は設置場所が高すぎ、車椅子からでは手が届かないそうだが、ここでは車椅子のまま切符を買うことができた。そこから開札口に向ったが、予想通り開札口の幅は狭くて通ることができない。しかし、右側に団体客用の鉄扉があり、そこから通り抜けることができた。



1番ホームから2番ホームに行くにはホーム端のゆるい勾配の階段を下り、踏切を渡って再び2番ホームの階段を昇らなければならぬ。階段は車椅子にとって大敵である。二人がかりで慎重に下ろし、踏切を渡った。その時、突然車椅子がガクリと止まり、あやうく前に落

ちそうになった。車椅子の前輪は小さなキャスターのようなものだが、それが線路の間に横向きにスッポリとはまり込み、急停止となったからだ。何回繰り返しても前車輪は同じような結果となり、前に進めない。車椅子を後向きにして進めると難なく前進した。電車がホームに滑り込み、乗降の混雑が治まった後、車椅子での乗降を試みたホームが古いためか、電車とホームの間はかなりの段差があり、二人でも乗せることができず、三人でようやく乗せられた。降りる時も同様だった。

トイレが大問題！

最後の目標丸広は、歩道との段差が無くスムーズに入れた。売場の通路も我々が通った限りでは、車椅子でも通り抜けられた。エレベーターは大型で、内部で方向転換をすることができると、エレベーター嬢が居るので、ドアは乗降が済むまで開けておいてくれる。「車椅子の人は良く乗りますか」と聞くと「時々乗られます」との答えだった。

7階の食堂で一服していると、またまた車椅子に乗った人が目の前を横切つてゆくではないか。失礼とは思いつつ早速インタビューを試みた。

「いつから車椅子に乗っていますか。3年前に建設現場で負傷し、2年間入院してそれ以来車椅子です」

「ここまでどうやって来ましたか。」

「車椅子は二つに折りたためるので、タクシーに乗って来ます」

「段差に対してはどうしていますか。」

「3センチぐらいでしたら、車椅子に訓れさえすれば乗り越えられますが、それ以上は駄目です」

「外出して不便なことは。」

「やはりトイレの問題です。このデパートにも車椅子用のトイレがあれば良いのですが」

「うかつにも、にわか車椅子の我々にはトイレの問題までは気がつかなかった。デパートを出ると、歩道に買物客の自転車が多数あった。歩行者でさえその間を縫って歩いているので、車椅子では全くの通行不能だった。」

「以上で市内3カ所の、車椅子による体験ルポを終る。わずかな時間と、場所だけで車椅子の不自由さの全てが分ったとは思わないが、その一端はかい間みる事ができた。すべての公共物を、車椅子も使えるように作り変えることは不可能だその落差を埋められるのは、私たちの車椅子や障害者に対する心使いしかない。」

平岡工業株式会社

飯能(〇四二九七)2-2131代

飯能市農業協同組合

飯能市本町一〇三
電話 二一六二〇一(代)

「くらしに力を農協貯金」

コンピューター
内部配線用
その他
情報産業用機器
配線用特殊電線
製造販売



株式会社

潤工社

飯能市芦刈場3-1
TEL 3-2261(代)

市民福祉デー 今、みんな幸せだろうか？

講師 コロムビア・トップ氏

時間 10月24日(土) 3時より。
場所 中央公民館2階ホール。無料。
共催 飯能市

飯能市市民憲章推進協議会福祉部会
社会福祉法人飯能市社会福祉協議会
飯能ロータリークラブ
飯能ライオンズクラブ

社団法人飯能青年会議所

市民のだけれども、この飯能の地に住むことに「安らぎとよろこび」を感じ合える——そんな日に向かって、市民の一人一人が努力を交し合うことが、福祉のところであり、痛みのわかり合えるまちへの源泉ではないでしょうか。そういった「このころのふれ合い」を目指して右記の通り「市民福祉デー」が開催されます。福祉デーも今回で8回目を迎え、その都度各方面からの援助をいただき、年々盛況さを増しています。今年は社団法人「あゆみの箱」理事であり、風刺漫画家でおなじみのコロムビア・トップ氏により日本の福祉のあり方、福祉に関する身近な問題、福祉のころ、についての講演を行います。またその話の間には、ユニークな口調と、歯に衣を着せない独特な話し方によって、国会内に於ける裏話(本音と建て前)から、ちまたの話まで中広い興味深い内容となっています。



コロムビア・トップ氏

コロムビア・トップ氏は東京浅草に生まれ、幼時より反骨精神旺盛、戦時中は加藤隼戦斗隊に所属、復員後、戦友初代ライトとコンビを組み、風刺漫画に徹し昭和27年コロムビアと専属契約を結び芸名を青空からコロムビアに改めた。しかし同氏の弟子は現在でも青空を名乗っており、千夜・一夜、球児・好児、うれし・たのし、等の外に玉置宏、十勝花子、市川昭介、鈴木やすしなど是有名である。昭和49年、参議院議員に当選、55年、任期満了再出馬落選、現在漫才協団会長、そして前述のように「あゆみの箱」理事として活躍している。また同氏が最大の巨匠ファンであることは言うまでもないが、多忙のため球場通いができないのが残念とのことです。

福祉とは、身近な問題でありながら、自ら進んで、といった人が少ない。この機会にみんなで考えたいと思います。

今年国際障害者年「完全参加と自立」と大きな声で叫ばれています。しかし財源の不足、そして「行革」の聲が高まりつつある今、福祉をとりまく環境は、ますますきびしくなっています。

今こそ、街の福祉をじっくり考える時ではないでしょうか。行政としてやらなければならないはずの施策さえ今は不十分です。まずこれを充実することに目を注がねばなりません。行政とは、一つの機構から作り出されるシステムであって、そのシステムを良いものに変えて行くのが、街の人達の心でしょう。

思いやりと愛の心を

—「国際障害者年」に思う—

副理事長 桜井実樹

地域のために何かをしたいと思っていながら、行動の場を見出せない人。いつかはボランティア活動をしたいと思っている人。その様な人は、数年前の総理府の調査では、3人にひとりといわれています。今年の国際障害者年を、ただのお祭りに終らせず、私達が持っている優しい心を行動に移す、またとないチャンスではないでしょうか。

最後に、宮城まり子さんの言葉から「障害を持った人も、その人の個性だと尊重できる社会なら、健康な人も、もっと生きやすい社会になるでしょう」

ちびっ子農園収穫祭

ちびっ子農園運営協議会（会長進藤良人さん）では、来る10月25日（日）午前10時より、新町のちびっ子農園においてサツマイモの収穫祭を行なうことになりました。（雨天の場合は11月1日に延期）去る5月24日に植付をして以来、5ヶ月が経過し、いよいよ各地区のちびっ子達が楽しみにしていたサツマイモの収穫祭が

やってきました。

今年の夏は予想に反して、非常に暑く、草取り、つるがえし等、各役員、子供達も大変でしたが、そのかいあって大きなサツマイモが期待できそうです。

子供たちもドロにまみれてサツマイモと格闘！ きつと楽しい一日となるでしょう。

交通シンポジウム

大盛況で終る

(財)日本青年会議所及び、(財)飯能青年会議所は、交通安全母の会共催のもとに、去る9月20日飯能市中央公民館で交通安全デー「母と子のつどい」を開催した。これは、親子で正しい交通安全の知識を身につけることを目的として行なわれたもので、当日は、500名以上の親子が集まり、交通安全についての講演、映画、紙芝居、人形劇等を行ない、大変盛況のうちに終った。

なかでもカンガルー等の動物のぬいぐるみを使った人形劇による、やさしい交通ルールの説明には会場のちびっ子達も、非常に納得したようであり、頭で考える交通安全に比べ自分の目で見、体験することがいかに大切かがわかる。



好評だったこぐま座の人形劇

新入会員紹介

豊田義継君



日豊鉱業(株)
昭和19年生れ

6月例会をオプザバーとして出席し、その活力と新鮮さを感じました。残り少ない期間ですけど、全力投球でJC活動につくし、多くの知友を得られれば幸いと思います。

宇津木省一君



武蔵総業(株)
昭和23年生れ

飯能に生まれ、その後10余年間清瀬市に移住しましたが、約7年前に当地に再住し、同世代の友達と交流を深めたく入会しました。社会と人間の開発をめざし頑張ります。

山村 昇君



山村印刷(有)
昭和26年生れ

友人の強い勧めと、家族の理解により入会する事になりました。JC活動により、自己修練、又多くの友人が出来ればと思います。なぜか独身、気楽な次男坊です。よろしく。

'82年度飯能青年会議所会員一覧 (予定)

スタッフ			
理事長	矢島 徹	会長開発委員会	五十嵐智勇
直前理事長	新井 景三	〇荒井 利夫	
副理事長	黒沢 武尚	〇塩野 利夫	
副理事長	豊崎 浩司	〇堀沼 敏夫	
副理事長	鳥羽 捷義	〇田中 憲孝	
副理事長	宮寺 香	〇沼崎 功	
小久保勝弘		〇内沼 敏	
副理事長	半田 文夫	大河原章吉	
専務理事	長坂 悟	〇小林 好司	
監事	金子 晃庸	〇島田 幹夫	
監事	小見山賢一	〇山崎 紘	
総務委員会	〇中山 賢一	経営開発委員会	〇小澤 永一
〇高野 雅雄		〇杉田多可雄	
〇安藤 泰男		〇高篠 吉克	
〇小川 久雄		青木 利男	
坂本 勉		宇津木省一	
村田 昌代		高橋 美紀	
吉島 一良		田島 洋次	
		豊田 義継	
指導力開発委員会	〇加藤喜久雄	交通開発委員会	〇松岡 茂
〇栗原 得次		〇小沢太喜雄	
加藤 恵一		〇佐野 雄康	
木川 平男		〇大野 政幸	
田中 聡憲		小林 進	
前久保幸一		鈴木 恵司	
社会開発委員会	〇野口 勲	増岡 利和	
〇利根川正弘		山川 莊太郎	
		市内本町一の一七	
		〇印 委員長	
		〇印 副委員長	
		〇中里 忠夫	
		〇柳内 郁雄	
		〇横川 直一	
		〇木下 勝善	
		〇小久保守秩	
		〇杉田 一昭	
		〇原島 慎一	
		〇福島 金重	
		〇山本 信治	
		〇細田 栄能介	
		〇桜井 実樹	
		〇細田 隆行	
		〇安藤 勝男	
		〇加藤 正幸	
		〇小山 昌良	
		〇島田 秀和	
		〇武末 義正	
		〇山村 昇	

産婦人科・小児科・内科

西武産婦人科・小児科病院

院長 石井 照雄

飯能市山手町17の15 電話 2211代

株式会社 樺本チエイン

飯能市新光20 電話 1131代

くらしに力を農協貯金

加治農業協同組合

飯能市笠縫60-1

本店 2-7101 支店 3-4141

まるひろ

お買物は



飯能 丸広 まるひろ
TEL(03)1111(代)

「明るい窓口で、明るい地元をつくる」
飯能信用金庫
本店 飯能市八幡町一三 電話(0429)71(六二二)
東飯能店 栄町一六四 電話(0429)71(五三三)

ゆたかなくらしに
奉仕する



本部 入間市扇町屋1-7-3
TEL 0429(63)1141(代)
本社 飯能市仲町1-10
TEL 04297(2)7151(代)

お祭り広場だ。みんな集まれ!

来る11月3日は 飯能祭りだ。飯能J.C.では 今年も 前夜祭
から もりだくさんの企画を そろえて 待っている。さあ みんな ——
おまつりひろばに 全員集合!!

..イラスト 神崎みゆき..



問合わせ先
飯能青年会議所(商工会館内) 電話(43)111(代)
又はおまつり委員長 野口勲 電話(2)2478
ミス飯能まつり応募先
総務委員長 大久保勝彦 電話(2)3037
会員委員長 青木 利男 電話(2)2304

